

第55回 釜学を開催しました

日 時 2月28日（水） 18時～20時

講 師 西口宗宏氏



（西成区簡宿組合理事・NPO サポートィブハウス連絡協議会副代表）
（簡宿、福祉アパート経営）
（萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社代表）

テーマ 釜ヶ崎と簡宿の近現代史（戦後を中心に）

内 容 氏は、簡宿を営む家に生まれ、地元で幼少期より、現在まで、過ごしてこられました。幼少期の好景気時代の簡宿の宿泊客とのエピソードや、簡宿の発展などについて述べられました。また、景気の後退後の労働者の姿や、簡宿経営者の社会的な責務として、困窮する労働者のために、簡宿から福祉アパートへの転換について詳しく述べられました。この街は大きく変化を遂げており、簡宿や福祉アパートは街の人口構成の変化などに影響されながらも、責務を果たすべく、今後も進化していきたいと、未来への豊富についても、参加者のみなさんと意見交換しました。

